

降雪に対する農作物等の技術対策

令和2年12月25日
技術支援課普及指導室

群馬県における年末年始の天気予報

予報期間 12月26日から1月1日まで (令和2年12月25日 気象庁発表)

向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の中頃には気圧の谷の影響で曇りや雨の降る日があるでしょう。長野県北部と群馬県北部は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の降る日が多い見込みです。なお、30日頃からは、長野県北部と群馬県北部では、寒気の程度によっては大雪となるおそれがあります。

最高気温と最低気温はともに、期間の中頃までは平年並か平年より高いですが、期間の終わりは平年より低く、平年よりかなり低い所もあるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

なお、2週間気温予報によると、1月1日から6日にかけて、前橋、みなかみでは、ともに例年より低い気温で推移する予報が出されています。

【施設園芸等】

- 1 積雪によるハウスへの負荷を軽減し、雪害を防止するため、ハウスの被覆資材の破れや隙間の点検、取り付け金具の調整、抑えひもの固定などを行う。また、必要に応じて応急補強用の中柱や筋かいなどで補強する。
- 2 降雪が予想される場合は、ハウスの屋根被覆資材の表面に雪の滑落を妨げる物（遮光資材等）がないかを点検する。また、暖房機の燃油残量を確認するとともに正常に機能するか確認を行う。
- 3 加温設備のあるハウスでは、積雪前に内張り保温カーテンを開放した上で暖房を行い、融雪対策に努める。加温設備のないハウスでは、内部を密閉して気密性を高めることで、地熱により室温を上昇させ、内張り被覆を開放して屋根雪を滑落しやすくする。
- 4 最新の気象情報による積雪深がハウスの耐雪強度を大きく上回る場合は、被覆資材を切断除去することで施設に対する積雪を防ぐ。
- 5 積雪量が多い場合は、除雪、融雪により大量の融雪水が発生するので、事前に排水路の整備、清掃等の対策を講じておく。
- 6 停電発生時には、予備電源の作動を行い、暖房機等の起動を行う。また、養液栽培等で作物の萎れが予想される場合、あらかじめ貯水しておいた水を用いて速やかに手動によるかん水を実施する。停電復旧後は、天窓やカーテン等が正常に作動するか確認する。

- 7 基本的には降雪が収まり、施設の安全が確認された時点で点検、除雪作業等を行う。
- 8 降雪による施設の被害が発生したときは、安全には十分配慮した上で、できる限り早期に施設の破損、倒壊状況等の点検を行うとともに、修復が可能な場合は、早急な修復により室温の確保に努め、低温による栽培作物の生育障害・枯死等の被害を防止する。
- 9 屋根、軒下ハウス間の積雪は、施設倒壊のおそれなくなった後、次の降雪に備えて直ちに除雪する。
- 10 被覆年数が長い古いビニールがかかっているパイプハウスは注意する。
- 11 トンネル栽培で雪が積もった場合は、速やかに雪下ろしを行う。

【 果 樹 】

- 1 雪で裂ける恐れのある枝は、支柱を添えて、針金やボルト等で補強する。
- 2 果樹棚は、倒壊を防ぐため中柱を追加する。
- 3 降雪の都度、樹上（棚上）の雪を払い落とす。
- 4 損傷を受けた枝は、支柱を添えて、針金やボルトなどで早めに止めて接合を図る。
- 5 損傷部分の傷口は、塗布剤を塗って保護に努める。

【 畜産（ビニールハウス利用堆肥化施設）・普通作物（水稻育苗施設） 】

- 1 あらかじめ施設の点検を行って、積雪による倒壊の恐れがある場合は、補強材を利用して中央部に中柱を立てる。
積雪量によっては中柱を多めに設置する。
- 2 降雪時にはビニールハウスをよく巡視し、屋根に積雪した場合は早めに雪降ろしを行う。

【 園芸施設共済への加入 】

パイプハウス等園芸施設が倒壊等の被害を受けた場合、自力の再建は経営に大きな負担となります。

特に、平成 26 年 2 月の大雪被害で補助事業により再建した施設については、被害を受けた場合は復旧が要件となっていますので、経営リスクの軽減を図るためにも、園芸施設共済等に参加しましょう。

「人命第一」

降雪中や降雪後にハウス内へ入ることは、ハウス倒壊の恐れがあるので大変危険です。降雪前に十分な対策を行いましょう。

また、農業用施設で雪下ろし作業等を行う場合は、転落等の危険性があるため、充分注意を払いましょう。

■ ハウスの降雪前・降雪後のチェックを行いましょう

①	最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしていますか
②	ビニールフィルム等被覆資材の取り付け金具の調整、抑えひもの固定、破損部分の補修はできていますか
③	ハウス屋根の外側に設置した、遮光資材などは外しましたか
④	倒壊防止のための中柱は準備できていますか
⑤	暖房機用の燃料は十分確保できていますか
⑥	暖房機が設置してある施設は、可能な範囲で施設内の温度を高め、カーテンを開け、屋根面を暖め、融雪を促していますか
⑦	降雪後、多湿条件下では病害が発生しやすいので適宜換気を行い、天候回復後に防除を行いましたか